



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

高規格道路沿い「道の駅構想」 その後は

Q これまでと、現在の協議事項は。
A 県と半島3市のほか、JA、商工観光団体、島鉄等で施設内容、地域の課題など意見交換した。2回目は施設に対する期待や機能、市民・既存広域農道沿線の直売所にアンケート、候補エリアの選定状況などを報告された。

Q 物販やトイレ休憩以外にも防災広場・ドクターヘリへの活用や今後のEV充電スポット、水素ステーションの普及など幅広く議論し、進してほしいと思うが。
A 道の駅は近年非常に多様化しておりRVパークで電源の供給、農水産品の6次加工販売や、国では「防災道の駅」を進められている。普段は物産・観光でにぎわうが、災害時には非常電源や飲料水があり、一時的避難所としても利用できるものもある。将来的に本市の近くに防災道の駅があれば、島原半島全体の安全・安心にとってありがたい。

「人事評価」について現在の 状況はどうか

Q 近年の評価実績は。また、職員に人気・不人気の部署はどこか？
A 人事評価は概ね適正な運用ができています。
異動希望の多かった部署は、税務課、水道課、市民窓口サービス課、福祉課、保険健康課。希望が少なかったのは秘書人事課、政策企画課。

Q 例えば繁忙課・努力課の評価もすべきではないか。
A 活躍している職員、地味だけど根底で頑張っている職員もいる。指摘については何ができるのか課題として勉強してみたい。

新年度予算

Q ①島原城大手門市、②築城400年武将隊PR事業、③しまばらよかもんeネット市場の実施イメージは。
A ①大屋根広場を中心に、かつて大手広場で行われていた初市を彷彿とさせる物産市を開催する。②令和6年度の築城400年に向け、武将隊によるおもてなし活動や情報発信、県内外でのイベント参加、PRなど。③インターネット上に専用サイトを開設し、特産品を4割引で販売、2千円以上は送料を無料とする。

Q デイサービス型やアウトリーチ型の負担割合が両市と異なることで、事業者や産婦人科などでの事務手続きが複雑とのことである。両市と同じ1割負担の検討をお願いしたい。
A 近隣市の実施状況、県内の各市の状況等を踏まえ、検討したい。



公明党
ながお くにただ
永尾 邦忠 議員

産後ケア

Q 半島3市における近年の産後ケア利用数は。
A 本市は平成30年度から事業を開始。令和2年度の利用者数は島原市、雲仙市、南島原市の順に宿泊ケア80人、33人、51人、日帰りケア13人、37人、24人、訪問ケア25人、10人、66人(延べ人数)。

Q 産後4カ月未満という利用条件を両市と同じ産後1年未満に、また、宿泊型ケアの自己負担金2割を両市と同じ1割負担にしてはどうか。
A 検討したい。

Q 帯状疱疹ワクチン接種の対象は50歳以上で2回接種の費用は1回当たり2〜3万円程度、1回接種では7千〜1万円程度である。半額を助成している自治体があるが、本市も助成をお願いしたい。
A 県内で助成を行っている市はない。今後、県内他市の動向等を注視してまいりたい。

帯状疱疹ワクチン

Q 帯状疱疹の罹患者数は。
A 80歳までに日本人の約3人に1人が発症する感染症である。

Q 浄化槽整備に対する補助制度が実現したようだが、どのようなものがあるのか。周知を徹底してほしい。
A 単独、あるいは便槽から合併処理浄化槽に転換した場合、令和4〜6年度は3割上乘せ(7割補助)、7〜8年度は2割上乘せ(6割補助)、9年度は1割上乘せ(5割補助)。周知徹底、PRを図る。

浄化槽

【その他の質問項目】
◇コロナワクチン接種
◇市民相談より

◇市民相談より